

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日 時 令和6年3月12日（火）

午前10時から

場 所 議場

～審査内容～

- 1 議案第1号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）について
- 2 承認第1号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第10回）に関する専決処分について
- 3 議案第11号 令和6年度山陽小野田市一般会計予算について

全体会 3月12日（火）午前10時（議場）

審査 番号	項 目	出席者
①	議案第1号に係る各分科会長報告及び質疑	委員のみ
※執行部入場のため、委員会を暫時休憩		
②	議案第1号に係る討論及び採決	委員・執行部
③	承認第1号に係る分科会長報告、質疑、討論及び採決	委員・執行部
※本会議を開催するため、委員会を暫時休憩		
④	議案第11号に係る歳入歳出総括説明	財政課

■分科会長報告概要■

		令和6年3月定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）について	
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、普通交付税の追加交付に伴う減債基金への積立に加え、決算を見通して行うもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳入】 ○ 6 款 ・ 1 項 1 目法人事業税交付金 1,200 万円の減額 県に納付された当該事業税の 7.7%が市町に配分されるもので、県から当該交付金の決算見込みについて情報提供があった数値を踏まえたもの ○ 11 款 地方交付税 ・ 1 項 1 目地方交付税 1 億 6,211 万 4,000 円の増額 令和 4 年度の国税決算等の増額により、国において令和 5 年度普通交付税の追加交付が決定されたことに伴うもの ○ 19 款 繰入金 ・ 1 項 1 目財政調整基金繰入金 3 億 5,542 万 8,000 円の減額 財源調整として行うもので、補正後の財政調整基金の令和 5 年度末の予算上の残高は、39 億 8,503 万 8,000 円となる。 【歳出】 ○光熱費全般の減額 当初令和 5 年 9 月分までとされていた国による激変緩和措置が令和 6 年 5 月分まで延長されたことによるもの ○2 款 総務費 ・ 1 項 10 目地域振興費 5,892 万 8,000 円の減額 ふるさと納税の寄附額 4,250 万円の減額と、それに伴う経費の減額によるもの	

(主な質疑)

＊「ふるさと納税が伸び悩んだ理由は」との質問に「10月の法改正により、本市の主力商品でもある寄附額1万円以下の返礼品にお得感がなくなったことが大きな要因の一つと考える」との答弁

・1項14目防災費 8,493万円の減額

主に、防災情報伝達システム整備工事、いわゆるJアラートに連動する防災スピーカーの整備工事に関して、落札額や工事実績に基づく不用額を減額するもの

(主な質疑)

＊「不用額が出た要因は何か」との質問に「全箇所において、フェンスで囲いをすることや、基礎工事で深く掘る想定で予算を積算していたが、現場調査をする中でそこまでの工事が不要で、原課ができる場所があったので経費を削減した」との答弁

・1項31目本庁舎改修事業費 6,352万6,000円の減額

来年度工事を予定している倉庫等の建築・解体のための設計業務委託料について、落札減による不用額、引っ越し業務等に係る費用の精算に伴う不用額、改修工事に係る精算による不用額、レイアウト変更に伴うキャビネット等の購入に要する費用の不用額をそれぞれ減額するもの

・2項2目賦課徴収費12節委託料 405万8,000円の増額

令和5年12月22日に税制改正大綱が閣議決定され、令和6年度に、国税の令和6年分所得税3万円と地方税の令和6年度分個人住民税1万円の合計1人当たり4万円の定額減税を実施することとなったことから、地方税部分の対応を当初賦課に間に合わせるためシステム改修を実施するもの

○9款 消防費

・1項1目常備消防費 1,174万3,000円の増額

宇部・山陽小野田消防組合費分担金について、救急件数増加に伴う医薬材料費の増加、給与改定に伴う給料等の増額、燃料費の増額及び基準財政需要額確定に伴う分担金負担割合の増加により増額するもの

(主な質疑)

＊「負担割合はどうなったのか」との質問に「負担割合は予算要求した時点では33.7%であったが、令和5年度の割合が34%に確定した」との答弁

- ・ 1 項 2 目非常備消防費 550 万円の減額

消防団員報酬の減額であり、消防団員が条例定数に達しなかったこと及び火災や風水害等の災害出動が想定を下回ったことによるもの

(主な質疑)

- ＊「定数は何名か。また、現員数の状況はどうか」との質問に「定数は 485 名であり、令和 6 年 2 月 1 日時点の団員数は 389 名である」との答弁

○10 款 教育費

- ・ 5 項 1 目社会教育総務費 12 節委託料 414 万 7,000 円の減額

国史跡周防灘干拓遺跡浜五挺唐樋保存活用計画策定業務、山下記念館解体工事に係る測量業務、山下記念館解体工事に係る事前の家屋調査業務においてそれぞれ減額するもの

- ・ 6 項 1 目学校保健体育費 400 万円の減額

児童災害共済給付交付金の実績見込みによるもの

- ・ 6 項 2 目給食費

19 節扶助費 800 万円の減額

就学援助事業の実績見込みによるもの

(主な質疑)

- ＊「給食費の就学援助については問題点が改善されたと思うが、現在の状況はどうか」との質問に「給食費を差し引いた分を保護者の口座に支払い、全額現物給付として直接学校給食センターの給食費として頂いている」との答弁

【繰越明許費補正】(追加)

○税務基幹システム改修事業 405 万 8,000 円

5 市 2 町で実施している「やまぐち自治体クラウド」の中で実施するシステム改修の一部を次年度に行うため、繰り越すもの

【債務負担行為】(追加)

○LABVプロジェクト民間施設賃借料

限度額 17 億 8,752 万円 (令和 5 年度～令和 40 年度)

公園通出張所、会議室 6 室を含む市民活動センター、福祉センター、地域職業相談室の四つの公共機能を賃貸借契約により設置するもの

(主な質疑)

＊「坪単価 1 万 400 円の妥当性は」との質問に「当初は坪当たり 9,353 円と設定していたが、昨今の物価高騰を勘案しての増額と聞いており、近隣の条件に近い物件と比較しても決して法外な金額ではないと判断している」との答弁

＊「市の出張所以外の三つの機能を市が賃貸契約する理由は」との質問に「この事業を進めるに当たり、公共性、公益性を保つため」との答弁

【債務負担行為】（廃止）

○ふるさと納税自動販売機設置事業

総務省の基準改正により、寄附の募集に使う経費を寄附額の 50%以下とすることが厳格化され、寄附の「募集に要する経費」の見直しにより、これまで 50%以下であった本市の手数料が基準改正後では 55.48%となったため、手数料を 50%以下とする対策が必要となった。このため、寄附額の調整や設置事業者と設置に係る費用の減額交渉などを行ったが、50%以下にすることができないと判断し、中止するもの

（主な質疑）

＊「ふるさと納税自動販売機の代わりとなる取組はあるのか」との質問に「現地型のふるさと納税の検討をしている」との答弁

■分科会長報告概要■

		令和6年3月定例会
		一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）について	
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等取り急ぎ措置すべき案件についての補正である。	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳出】 ○2 款 総務費 ・ 1 項 13 目空家対策費 150 万円の減額 令和5年12月に予算を446万9,000円増額補正したが、その後、補助金の対象とならなかったケースが4件あったため減額するもの ・ 3 項 1 目戸籍住民基本台帳費 1,050 万 5,000 円の増額 戸籍の記載事項に旧氏名及びその振り仮名を追加するためのシステム改修委託料を増額するもの （主な質疑） ＊「空き家を除却するための補助金が支給対象外となった理由は何か」との質問に「4 件のうち 3 件は、現地調査の結果、不良度判定が 100 点未満となったため、1 件は、市外業者に除却を依頼したためである」との答弁 ＊「システム改修委託料の金額は、精査しているのか」との質問に「精査して適正な金額であると認識している」との答弁 ○3 款 民生費 ・ 1 項 9 目のぞみ園整備事業費 660 万 8,000 円の減額 ・ 2 項 2 目児童措置費 9,364 万 9,000 円の減額 国の補助割合が変更されたこと等によって減額するもの ・ 2 項 4 目保育所費 1,229 万 1,000 円の減額 小野田地区公立保育所整備事業について、落札減及び調査内容の変更により地質調査委託料を減額し、並びに実施設計業務に係る前払金の請求がないことにより設計委託料を減額するもの	

- ・3項2目扶助費 19 節扶助費 3,000 万円の増額

生活保護受給者数は減少しているが、必要な医療費は増加しているため、生活扶助費等を減額し、医療扶助費を増額するもの

(主な質疑)

- *「児童措置費の保育所運営費（私立分）を減額した理由は何か」との質問に「単価が特に高いゼロ歳児の入所数が、当初見込んでいたよりも少なかったため」との答弁
- *「小野田地区公立保育所整備事業については、水害などを考慮して設計しているのか」との質問に「その辺りも含めて委託事業者と協議中である」との答弁
- *「生活保護者数が減少している要因は何か」との質問に「人口減が大きな要因と考えている」との答弁

○4 款 衛生費

- ・1項2目予防費 6,299 万円の減額

子宮頸がんワクチン及び風しんの予防接種の接種率が伸びなかったこと、また、今年度の出生数が見込みよりも減少したことにより減額するもの

- ・1項7目新型コロナウイルス対策費
1億5,810万9,000円の減額

新型コロナウイルスワクチンの接種率が見込みよりも伸びなかったため、予防接種委託料、コールセンター業務委託料及び集団接種業務委託料を減額するもの

- ・2項2目塵芥処理費 1,354万8,000円の減額

リサイクルを目的とした焼却灰のセメント原料化事業に伴う運送料及び処理料を減額するもの

- ・2項3目し尿処理費 1,500万円の減額

小野田浄化センターの電気料金について、当初予算で見込んでいた使用料単価の上昇が生じなかったことにより減額するもの

(主な質疑)

- *「子宮頸がんワクチンの接種を市民にどのように働きかけているのか」との質問に「小学生に対しては、中学校の入学説明会でチラシを配っている。中学生に対しては、夏休み前に全学年にチラシを配っている。高校生に対しては、高校一年生が定期接種の最終年度となるので、個別に通知している。また、キャッチアップ接種については、対象者全員に対して個別に通知し、勧奨している」との答弁

【繰越明許費補正】

○戸籍情報システム改修事業 2,300万8,000円

- ・氏名の振り仮名法制化が、国の令和5年度補正予算に計上されたため、令和5年12月と令和6年3月に補正予算を計上したが、令和5年度中に事業の完了が見込めないため

○のぞみ園整備事業 660万円

- ・新のぞみ園建設地に炭鉱跡が発見されたこと等により地質調査の完了が遅れた結果、建築実施設計業務にも遅れが生じ、契約期間の終期を令和6年4月30日に変更するため

○小野田地区保育所整備事業 2,075万2,000円

- ・水路・造成工事において受注製作となるコンクリート製品が、災害等の影響により納品に多くの日数を要するため

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 824万8,000円

- ・新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日で終了することに伴い、令和6年4月以降に残務整理が発生することが予想されるため

■分科会長報告概要■

		令和6年3月定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）について	
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等取り急ぎ措置すべき案件についての補正である。	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳出】 ○6 款 農林水産業費 ・ 1 項 1 目 農業委員会費 委員報酬 979 万 8,000 円の減額 農業委員及び農地利用最適化推進委員の成果実績に基づき能率給を減額するもの ・ 1 項 3 目 農業振興費 農地集積協力補助金 118 万 5,000 円の増額 農業次世代人材投資資金 112 万 5,000 円の減額 新規就業者等産地拡大促進事業補助金 182 万 9,000 円の減額 新規就農者支援事業補助金 300 万円の減額 担い手支援事業補助金 113 万 3,000 円の減額 6 次産業化・農商工連携応援事業補助金 200 万円の減額 集落営農法人連合体形成加速化事業補助金 66 万 3,000 円の増額 ・ 1 項 5 目 土地改良事業費 工事請負費 890 万 3,000 円の減額 修理田ため池切開工事の落札減によるもの ・ 3 項 3 目 漁港建設費 工事請負費 3,491 万 6,000 円の減額 埴生漁港改修工事の補助金の内示割れによるもの （主な質疑） ＊「農地集積協力補助金とは」との質問に「農地中間管理機構を活用し、担い手へ農地の集積・集約化に取り組んだ地域に対して協力金を交付するものである」との答弁	

○7 款 商工費

・1 項 1 目 商工総務費

地方バス路線維持費補助金 1,780 万 3,000 円の増額
運行実績を踏まえ当初予算との差額を増額するもの

・1 項 2 目 商工振興費

工事請負費 246 万 5,000 円の減額

小野田・楠企業団地内への企業の進出に伴い設置する水道加圧装置に係る工事請負費の落札減によるもの

(主な質疑)

＊「コロナ禍前と比較して、バス利用者数はどうか」との質問に「令和元年度の実績が 79 万 2,735 人で令和 5 年度の 70 万 6,775 人と比較すると約 10 万人少ない」との答弁

＊「バス利用者の利便性向上の取組状況は」との質問に「厚狭駅から厚狭高校までのバスの通学便の新設や A スクエアの学生寮から山口東京理科大学までのバスの増便、バス停のベンチの更新等の取組を進めている」との答弁

○8 款 土木費

・2 項 1 目 道路橋りょう総務費

道路台帳整備委託料 549 万 7,000 円の減額

市道後潟堤防線沿いの県の護岸工事が完了しておらず、道路台帳の修正ができないことによるもの

・2 項 3 目 道路橋りょう維持費

工事請負費 746 万 9,000 円の減額

市道のリフレッシュ事業で、予想より路盤の状態が良く、補修の必要がなくなったことによるもの

・6 項 1 目 住宅管理費

地質調査委託料 333 万 5,000 円の減額

設計委託料 331 万 5,000 円の減額

アスベスト調査委託料 447 万 2,000 円の減額

耐震診断員派遣業務委託料 88 万 8,000 円の減額

空き家家具撤去等業務委託料 204 万 6,000 円の減額

(主な質疑)

＊「アスベスト調査委託料の減額の理由は」との質問に「120 検体のアスベスト含有調査物質があると判断していたが、実際に現地調査したのは 38 検体であり、費用が安くなった」との答弁

＊「地質調査委託料の詳細は」との質問に「有帆団地 A 棟、B 棟に浄化槽を設置するために地質調査を実施した」との答弁

【繰越明許費補正】（追加）

- 県営防災減災事業・河川応急事業 350 万 4,000 円
- 防災重点ため池等廃止事業 579 万 7,000 円
- 県営農業競争力強化基盤整備事業 437 万 8,000 円
- 埴生漁港整備事業 1,508 万 4,000 円
- 駅舎バリアフリー化整備事業 5,743 万 1,000 円
- 道路交通安全施設等対策事業費補助事業 324 万 4,000 円
- 防災・安全交付金事業 2,942 万 5,000 円
- 道路更新防災等対策事業 1,471 万円
- 河川整備事業 1,226 万円
- 排水機場整備事業 699 万 6,000 円
- 土砂災害警戒区域災害復旧事業 3,200 万円
- 公共土木施設災害復旧事業 1 億 4,140 万円
- 農業施設災害復旧事業 5,068 万 5,000 円
- 林業施設災害復旧事業 3,785 万 4,000 円
- *年度内に事業の完了が難しいため、繰り越すもの

【債務負担行為補正】（追加）

- 竜王山公園オートキャンプ場施設等更新事業 限度額 500 万円
（令和 5 年度～令和 6 年度）
- 南部地区都市公園外施設指定管理者委託料
限度額 2 億 4,097 万 7,000 円（令和 6 年度～令和 10 年度）

■分科会長報告概要■

		令和6年3月定例会
		一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	承認第1号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第10回）に関する専決処分について	
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、国が、物価高騰を踏まえた低所得者世帯への追加支援策として給付金を支給する方針を示したことから、支給に向けて早急に予算措置が必要となったため、令和6年1月19日に専決処分を行ったもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳出】 ○3 款 民生費 ・ 1 項 10 目物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金給付事業費 2 億 7,822 万 6,000 円の増額 住民税均等割のみ課税世帯への給付については 2,000 世帯、低所得者の子育て世帯への加算については児童 1,300 人を対象と見込んでいる (主な質疑) * 「案内チラシをいつ発出するのか」との質問に「3 月中旬を予定している」との答弁 * 「対象者を漏れなく抽出できるのか」との質問に「住民票と課税の情報から対象者を抽出するので、適切に抽出できると考えている」との答弁 【繰越明許費】 ○物価高騰対策住民税均等割のみ課税世帯支援給付金給付事業 2 億 692 万 6,000 円 ○物価高騰対策子育て世帯支援給付金給付事業 7,130 万円 ・ 4 月以降に支給する予定であり、今年度内に業務が完了できないため	

基金の状況

● 普通会計の基金

(単位：千円)

NO	基金の名称	基金の 管理状況	令和4年度末 残高額	令和5年度末		令和5年度末 残高見込額	令和6年度末		令和6年度末 残高見込額
				積立金	取崩額		積立金	取崩額	
1	新幹線厚狹駅整備基金	現金	29,805	12	0	29,817	3	0	29,820
2	労働施設積立基金	現金	34,812	2	0	34,814	2	920	33,896
3	新山野井工業団地かんがい揚水施設維持管理基金	現金	17,243	1	1,120	16,124	1	1,120	15,005
4	津布田一丁田地区かんがい排水施設維持管理運営基金	現金	53,185	3	700	52,488	3	1,000	51,491
5	公共施設整備基金	現金	23,013	2	0	23,015	2	0	23,017
6	退職手当基金	現金	1,147,589	100,089	0	1,247,678	97	310,000	937,775
7	交通遺児基金	現金	13,248	6	6	13,248	6	0	13,254
8	教育文化振興基金	現金	153,553	122	122	153,553	0	0	153,553
		証券	300	0	0	300	0	0	300
		計	153,853	122	122	153,853	0	0	153,853
9	一般廃棄物処理施設等整備基金	現金	890	1	0	891	1	0	892
10	まちづくり魅力基金	現金	1,086,398	43	133,910	952,531	38	174,238	778,331
11	ふるさと支援基金	現金	285,046	130,728	174,829	240,945	84,255	161,185	164,015
12	江汐公園施設整備基金	現金	73,875	10,003	3,982	79,896	5,004	0	84,900
13	公立大学法人運営基金	現金	746,962	135,154	2,000	880,116	92,061	0	972,177
14	県収入証紙購入基金	現金	6,000	0	0	6,000	0	0	6,000
15	森林環境整備基金	現金	5,169	11,001	11,000	5,170	13,501	13,500	5,171
16	新型コロナウイルス等感染症対策基金	現金	42,774	3,002	11,834	33,942	2	0	33,944
17	山陽消防署埴生出張所建設基金	現金	176,996	8	80,000	97,004	4	97,008	0
18	庁舎建設整備基金	現金	205,001	100,008	0	305,009	101,900	0	406,909
特目基金合計		現金	4,101,559	490,185	419,503	4,172,241	296,880	758,971	3,710,150
		証券	300	0	0	300	0	0	300
		計	4,101,859	490,185	419,503	4,172,541	296,880	758,971	3,710,450
19	財政調整基金	現金	4,803,532	444,984	1,263,478	3,985,038	150,417	1,489,450	2,646,005
20	減債基金	現金	1,193,946	88,559	160,000	1,122,505	42	90,000	1,032,547
普通会計の基金の計		現金	10,099,037	1,023,728	1,842,981	9,279,784	447,339	2,338,421	7,388,702
		証券	300	0	0	300	0	0	300
		計	10,099,337	1,023,728	1,842,981	9,280,084	447,339	2,338,421	7,389,002

※各基金ごとに千円以下を四捨五入しているため、計と一致しないことがあります。

※年度末残高見込額は、予算上の数値です。（令和5年度：3月補正後、令和6年度：当初予算）